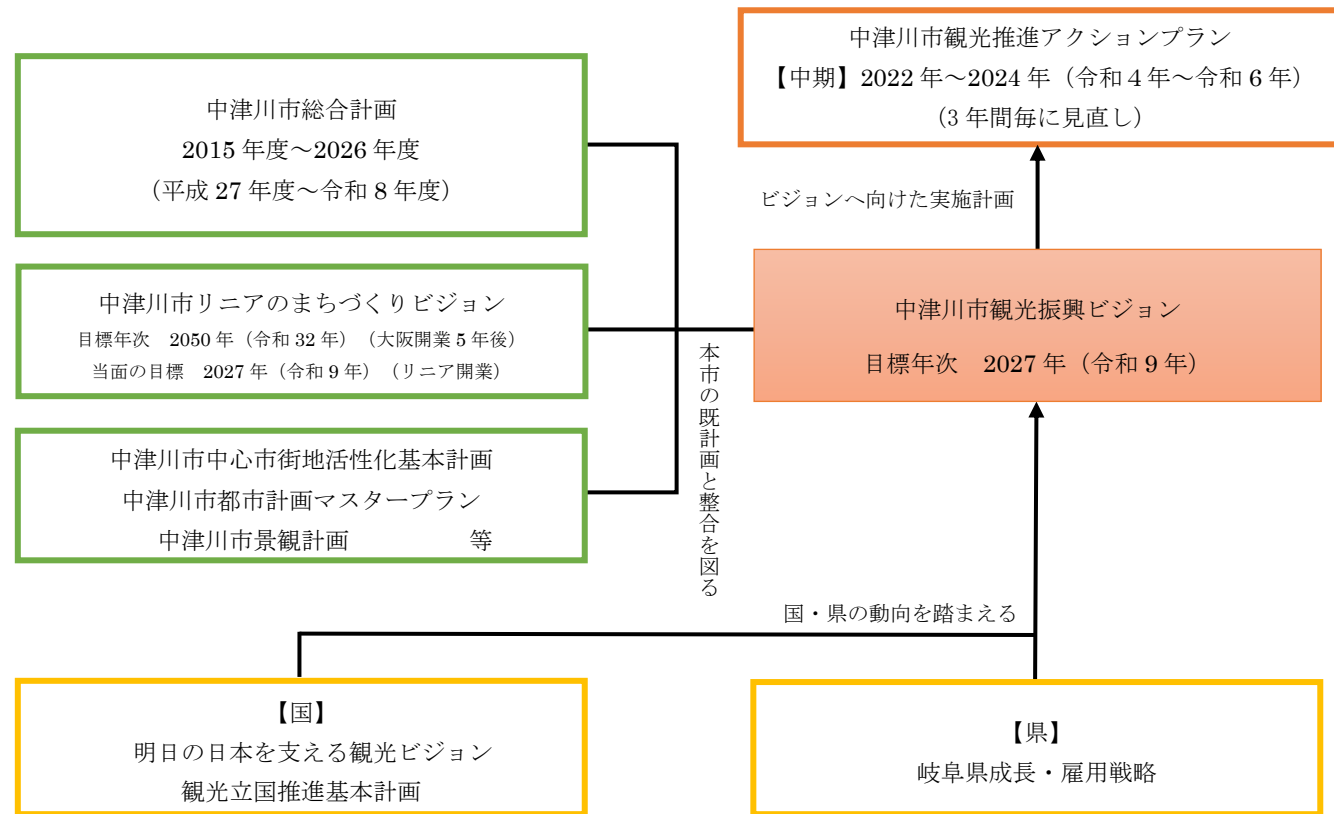


中津川市観光振興ビジョン&観光推進アクションプラン（令和4年3月改訂：概要版）

1. 計画の位置づけ

（観光ビジョン&アクションプラン本編 P3）



2. 中津川市の課題

（観光ビジョン&アクションプラン本編 P12）

- I. 1点立寄り型観光（通過型観光）の傾向が強いため、観光客を周遊させ消費を促す仕掛け作りや的確なターゲット選定については満足度の向上へとつなげる必要がある。
- II. リニア開通を見据え、将来のリピーター層をはじめとした、各ターゲットに即したコンテンツによる情報発信や関連する「コト」や「モノ」の一体的な本市の魅力を発信する必要がある。
- III. 今後も増加すると予想される外国人観光客の受入環境の整備をはじめ、地域の魅力を活かした商品の開発、情報発信が必要である。
- IV. 本市の豊富な資源の更なる活用や周辺自治体との連携、官民協働での「コト」の魅力を掘り起こす体験事業の実施などによる体験型・滞在型観光の推進が必要である。

3. 課題における対策

（観光ビジョン&アクションプラン本編 P14）

- 課題Ⅰに対する対策
 - A. 市内周遊観光の促進
 - B. 滞在時間及び消費額の向上
 - C. 観光客視点の取り組み
- 課題Ⅱに対する対策
 - D. 新たな客層の開拓、リピーター客の増加
 - E. 本市の魅力の情報発信
- 課題Ⅲに対する対策
 - F. 外国人観光客の誘客・受入環境整備
 - G. 「おもてなし力向上」への取り組み
- 課題Ⅳに対する対策
 - H. 観光拠点の魅力アップ
 - I. 多様な関係者の合意形成

4. 中津川市観光振興ビジョン

（観光ビジョン&アクションプラン本編 P13～P15）

～ 中津川市の観光振興に関する基本理念 ～

自然、歴史・文化、食などの『地域の魅力』を活かし、市民の『おもてなしの力』をもって、地域の観光価値を高め、誘客促進を図ることで、観光産業の確立につなげる。

ビジョンへ向け取り組むべき施策を大きく3つの基本方針とし事業戦略の展開へとつなげる。

- 基本方針 1. 国内観光の推進** **基本方針 2. インバウンド観光の推進** **基本方針 3. 広域観光の推進**

5. 観光推進アクションプランの目標

（観光ビジョン&アクションプラン本編 P16）

- (1) 目標年次
 - ・観光ビジョンにおける目標年次については、リニアが開業する2027年（令和9年）としており、その姿を見据え、観光客への時代のニーズ変化に対応しつつ、3年間毎に見直しをかけ、時代の潮流と動向に応じた着実な実現を図っていきます。
- (2) 目標
 - ・今後3年間の目標値を下記のとおり設定し、事業戦略を実施していきます。

目標値	2019年 （令和元年）	2020年 （令和2年）	2021年 （令和3年）	2022年 （令和4年）	2023年 （令和5年）	2024年 （令和6年）
観光入込客数	500万人	505万人	510万人	515万人	525万人	535万人

※設定した目標値は、新型コロナウイルス感染症による社会経済状況等の変化を踏まえ、適宜見直しを図る

6. 観光産業の確立に向けた役割

（観光ビジョン&アクションプラン本編 P17、P18）

行政の主な役割	観光協会の主な役割
①観光振興の推進と総合調整 ②観光協会への支援と連携強化 ③ボランティアやNPO等市民団体の育成・支援 ④域外行政等と連携した広域観光の推進	①観光振興に向けた組織の強化 ②観光振興事業の推進 ③多方面な分野との連携

7. 観光推進アクションプラン

（観光ビジョン&アクションプラン本編 P19～P24）

基本方針 1. 国内観光の推進

- (1) リニア開通を見据えた観光地域づくり
 - ①首都圏等におけるプロモーションの展開
 - ②民間施設等と連携した域内周遊及び滞在の促進
 - ③リニア岐阜駅周辺を「岐阜県の東の玄関口」とした広域観光におけるハブ機能整備の準備
 - ④中津川市全体の観光地域づくりの司令塔となる組織体制の整備
- (2) 着地型観光の推進
 - ①体験プログラムの開発・情報発信
 - ②地域資源の掘り起こし・磨き上げ
- (3) 岐阜の宝ものを活用した観光誘客
 - ①苗木城跡を活用した観光推進
 - ②地歌舞伎と芝居小屋を活用した観光推進
 - ③中山道を活用した観光推進
 - ④岐阜の宝ものを拠点とした市内周遊の促進
 - ⑤中津川市が持続可能な観光地として認められる取り組みの推進と観光資源の磨き上げ

基本方針 2. インバウンド観光の推進

- (1) 外国人個人旅行者（FIT）をターゲットにした観光推進
 - ①「ハイキング」をテーマとした観光推進
 - ②外国人バリアフリー化の推進
 - ③マーケット調査によるニーズ把握
- (2) 市内周遊及び滞在環境の向上
 - ①宿泊拠点地化の推進
 - ②外国人案内機能の強化
- (3) 海外への情報発信の強化
 - ①外部サイト・SNS等を活用した情報発信の強化
 - ②海外に向けたプロモーションの実施
- (4) 広域連携による観光プロモーション
 - ①尾張藩ゆかりの自治体による誘客プロモーション
 - ②杉原千畝ゆかりの自治体による誘客プロモーション

基本方針 3. 広域観光の推進

- (1) 東美濃地域との連携
 - ①沿線の歴史や伝統文化を活かした観光プログラムの創出
 - ②沿線の地場産業等を活かした産業観光の推進
 - ③沿線の観光資源を活用した誘客プロモーションの実施
- (2) 下呂市をはじめとする飛騨地域との連携
 - ①下呂・中津川地域周遊観光の促進
 - ②首都圏向けプロモーションの実施
 - ③欧米を中心としたインバウンド誘客の展開
- (3) リニア岐阜県駅エリアとなる恵那市との連携
 - ①持続可能な観光振興を進めるための国際基準の活用
 - ②事業者及び住民の連携による自立的な観光振興事業の展開
 - ③エリアコンセプトの確立及び地域プロモーションの実施
- (4) 南木曾町をはじめとする木曾地域との連携
 - ①JR東海と連携した誘客キャンペーンの実施
 - ②圏内自治体と連携した観光プロモーションの展開
- (5) その他県内外自治体との観光連携の促進
 - ①リニア駅設置自治体との連携
 - ②共通資源を有する自治体との連携